

第1号



YMIワールド

YMIWORLD

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

ワイズメンズクラブ国際協会

2025年7月



2025年6月11日、ワイズメンズクラブ国際協会を代表して、A・シヤナヴァスカーン国際会長とジョース・ヴァルギーズ国際書記長が、バチカンにてローマ教皇レオ9世に謁見しました。ローマ法王から使徒的祝福が国際会長と国際書記長に授与されました。



謙虚なサーバント・リーダー 協力的な行動を通じて変革を促す

ワイズメンズクラブ国際協会
2025-2026年度国際会長
エドワード・K・W・ONG

親愛なる世界中の YMI リーダー、クラブメンバー、友人の皆さま

2025年7月1日付でワイズメンズクラブ国際協会の国際会長に就任いたしましたことを光栄に思います。会員の皆さま、指導者の皆さまが私に寄せてくださった信頼と信用に心から感謝申し上げます。模範的なリーダーシップでわれわれの運動を大きく前進させてきた A・シャナヴァスカール直前国際会長の後を引き継ぎました。

今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。共に謙虚なサーバント・リーダーシップを通じて、あらゆるレベルで意義ある変革を促し、来るべき年に私たちの組織をさらに向上させるために努力していきましょう。

私のスローガン: 信念、愛、行動

私の主題: 共に、より強く

私のビジョン: 熱望し、鼓舞し、変革する運動

リーダーシップの再考

リーダーシップというと、しばしば権力や権威、個人の業績が連想されます。しかし、最も影響力のあるリーダーは、謙虚なサーバントという別の原型を体現していることが多いです。これは、自己を卑下することではなく、卓越性を追求しながらも、個人の野心よりもチームや組織のニーズを優先し、他人を動かして目覚ましい成果を上げることを意味します。

サーバント・リーダーシップの核心

謙虚なサーバント・リーダーは、真のリーダーシップとは支配力を発揮することではなく、他者に力を与えることだと理解しています。彼らのスタイルは、謙虚さ、奉仕への熱望、協力的な環境づくりへの深いコミットメントによって定義されます。彼らは命令することによってではなく、導き、鼓舞することによって指導します。彼らの目標は、個人的な評価ではなく、チームの集団的な成功と組織全体の成長です。

このリーダーシップのスタイルは、受動的なものではありません。謙虚なサーバント・リーダーは、野心的な目標を設定し、自分自身とチームに高い基準を課します。一人ひとりの可能性を信じ、それを開花させるために熱心に取り組みます。チームメンバーが成長するために必要なリソース、励まし、指導を提供します。勝利を祝い、挫折から学び、継続的な改善に焦点をあてます。

信頼と協力の文化を築く

サーバント・リーダーシップの真の強みは、インスピレーションを与える能力にあります。このようなリーダーは、信頼、相互尊重、オープンなコミュニケーションに根ざした文化を育みます。彼らは、チームの意見に積極的に耳を傾け、多様な視点を尊重し、貢献を認め、目的意識と所有権を共有します。このような協力的なアプローチは、組織の結束力を高め、より効果的に課題に立ち向かい、より大きなインパクトをもたらすことを可能にします。

変革の成果

謙虚なサーバント・リーダーが率いる組織は、深い変革を経験します。そのようなチームは、通常、より積極的で、生産性が高く、革新的です。チームの士気や仕事に対する満足度も高まります。その結果、組織は、より効率的になり、コミュニケーションが活発になり、目的に向かって一致団結するようになります。波及効果は、組織の枠を超え、より広範なコミュニティやその利害関係者にもポジティブな影響を与えます。

サーバント・リーダーシップの実践

最もパワフルなリーダーとは、必ずしも大胆な個性や、孤高の革新者、あるいは、威厳ある先見者ではありません。多くの場合、彼らは、奉仕を通して静かに、謙虚に導く人たちです。これは、決して弱さではなく、サーバント・リーダーシップの模範となったイエス・キリストの生涯と教えに代表されるように、変革のためのダイナミックな力なのです。

権力をため込まず、分かち合うリーダー、尊敬を要求せず、奉仕を通じて尊敬を得るリーダー、ビジョンを押し付けず、チームと共同して創造するリーダーを想像してみてください。それこそがサーバント・リーダーシップの真髄であり、自分を卑下するのではなく、他者の可能性を広げることなのです。

そのようなリーダーは野心的な目標を恐れず、力を与えられ、やる気のあるチームが並外れたことを成し遂げられると信じています。彼らは、マイクロマネジメントを避け、代わりにツールやサポート、ガイダンスを提供し、そして他人が輝くために身を引くことを選びます。

YMI リーダーシップの新しいモデル

サーバント・リーダーシップは、個人の卓越性だけでなく、集団としての達成も促進します。真の魔法は、団結の強さを理解するリーダーに導かれ、個々人が団結したときに生まれます。オープンなコミュニケーション、相互の尊敬、そして共有されたミッションによって、組織は、単なるチーム以上のものとなり、共通の目標に突き動かされる団結した力となります。

その結果は？ イノベーションの増加、士気の高揚、従来のリーダーシップ・モデルを凌駕する生産性レベル。そして、その影響は、組織内の成果をはるかに超え、外部に放射され、世界中の人々の生活や地域社会に影響を与えることとなります。

サーバント・リーダーシップの導入への呼びかけ

謙虚なサーバント・リーダーは、前向きな変化をもたらす強力なエージェントです。奉仕を最優先し、協働を促進し、潜在能力を最大限に発揮できるよう周囲を鼓舞することで、このようなリーダーは、変革的な成果を達成し、より強く、より強靱な組織の構築に貢献します。このようなリーダーシップのスタイルは、負債ではなく、謙虚さ、奉仕、協力の力に裏打ちされた、とてつもない強みなのです。

YMI運動のあらゆるレベルにおいて、このリーダーシップ哲学を体現することに努力しましょう。私たち自身の間でも、この考え方を奨励し、育てていきましょう。真の強さは、支配にあるのではなく、エンパワメントにあります。最も影響力のあるリーダーとは、無私の心で指導し、他者を鼓舞し、個人的な栄光ではなく、集団的な成功という財産を残す人たちです。

私たちは、皆、謙虚なサーバント・リーダー（永続的な変革の予期せぬ立役者）になる努力をしましょう。これがYMIにおけるリーダーシップの新しい基準となります。

編集長から

YMIワールドへのご意見やアイデアをお持ちでしたら、編集者にご連絡ください。

8月は、「戦略2032」の強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿する場合は、2025年7月15日までに編集長にご連絡ください。

編集長へ



シャナヴァスカーン直前国際 会長からの感謝の言葉

A・シャナヴァスカーン
2024/25年国際会長

YMIのクラブメンバーとリーダーの皆さまへ

YMIの第100代国際会長として、この運動を支えてきたことは、私にとって大きな栄誉でした。この役職での最後のメッセージを共有するにあたり、皆さまの支援と献身的な取り組みに、心からの感謝を申し上げます。この意味深い旅路において、皆様と共に歩めたことを大変嬉しく思っています。過去1年間、私は「立ち上がろう、そして輝こう」というスローガンを掲げ、信仰に導かれ、目的に駆り立てられ、すべての人々にとってより良い世界建設を目指す運動の覚醒に尽力してきました。これは、私たちの長期計画である「戦略2032」と一致するものです。ジョース・ヴァルギース国際書記長と私は、最近ヨーロッパを3週間かけて巡るミッション旅行から戻ってきました。その間、イギリス、オーストリア、イタリアで新しいクラブの設立式典に参加しました。YMIの歴史上初めて、私たちの組織は、教皇謁見の栄誉を賜り、ローマ滞在中、教皇レオ14世がバチカンで私たちを迎えてくれました。聖父は、当組織の活動に感謝の意を表し、国際会長と国際書記長に使徒的祝福を授けました。

2024/25年は真に変革の年でした。私たちは、画期的なイベントから始めました—美しいチェンマイの街で開催された第74回国際大会です。これは、単なる大会ではなく、フェスティバル—YMIフェスティバル—であり、世界中から500人を超える参加者が集い、祝うこと、戦略を練ること、そしてより大きな夢を語る場となりました。そのエネルギー、団結、そして精神が感じられ、感動的でした。この勢いを維持し、ドバイで開催された第20回国際ユースコンボケーションでは、若きリーダーたちに目的と情熱を注ぎました。未来の声が聴かれ、形作られ、称賛される場となりました。もう一つの画期的出来事は、インドで開催された国際RDEサミットでした—地域リーダーがインドの活気ある地域を体験する旅に出かける、前例のないイベントでした。これは、単なる会議ではなく、文化間の絆を深め、先見の明のあるリーダーシップを育む運動構築の経験でした。

私は、当組織の内部会員拡大戦略が大きな成果を挙げたことを誇りを持って報告します。7つの地域で125の新しいクラブが設立されました。—これは、卓越した成果であり、あらゆるレベルで尽力された会員とリーダーたちの努力の証です。さらに感動的だったのは、10の新しい国への進出により、YMIの存在を合計82カ国に拡大したこと—これは、YMIのグローバルビジョンを実現する上で重要な画期的出来事です。過去1年間、私は、自国と世界中の100回を超える対面会議に出席する機会を得ました。訪問したあらゆる場所で感じた同胞愛の温かさと、私たちの運動がもたらす意味ある影響に深く感謝しています。

その結果は、前期と後期の間で、グローバルな会員数が10.2%増加しました。この成長は、単なる数値の増加に留まりません—それは、私たちの運動に新たな再生の精神が流れ込んでいることを象徴しています。特に注目すべきは、南東アフリカとインドにおける新たな活力と活気です。これは運動の明るい未来を予感させるものです。内部の目標達成を超えて、私たちは戦略的パートナーシップを強化し、特に世界中のYMCAとの連携を深めました。私たちは、モンバサで開催されたYMCAビジョン2030アクセラレーターサミットを誇りを持って支援し、モンバサとニューデリーで開催された世界YMCA執行委員会会議に積極的に参加しました。これらの取り組みは、ユースエンパワメント、平和構築、持続可能な開発への私たちの共通の関わりを再確認するものでした。これは、世界中のYMCAを支援した多くのTOFと環境プロジェクトを補完するものでした。

組織として、私たちは、2024年10月にスイスでYMIを非課税団体として登録するという歴史的な画期的出来事を達成しました。これにより、私たちは法的明確さとグローバルレベルでのより強固な財務基盤を獲得し、持続可能な成功に向けた基盤を築きました。また、ロールバックマラリアプログラムの下で、意味のある新たな取り組みを開始しました。アフリカとインドでは、YMIクラブと地元のYMCAが、国の保健省や他の機関と協力し、ワクチン接種の拡大と地域社会への影響力を強化するため、草の根レベルの関与を推進しています。この取り組みは、2030年までにマラリア根絶することへの私たちの関わりを強化し、国際的な保健目標と私たちの核心的な人道主義的価値観と一致しています。

私たちは、組織内に行動規範を確立し、相互尊重、責任感、倫理的なリーダーシップへの関与を強化しました。この共有された関わりの反映として、今年度、国際的なリーダーシップの介入を要する紛争が発生しなかったことを誇りに思います。すべてのレベルで真の調和が保たれていました。皆さまが力強く、平和的で、影響力のある運動を築き上げたことを称賛します。

インド地域に対し、国際会長在任期間中における支援と激励に心より感謝します。2008/2009年度の国際会長としての長年の奉仕、リーダーシップおよび卓越した業績を称えV・S・バシール元国際会長をバランタイン賞の受賞者として発表します。正式な授賞式は2025年8月1日に日本で開催されます。おめでとうございます。また、アライズ・アンド・シャイン賞の受賞者を発表します：V・S・ラダクリシュナン地域会長（インド）、ジョウン・ウォン地域会長（アジア太平洋）、パク・ジョンアン地域会長（韓国）およびシャジ・マシュー区理事（インド）です。皆さま、おめでとうございます。

共に、私たちは、単に運動をリードしただけでなく、再生の火花を散らしました。

共に、私たちは、単にクラブを築くだけでなく、世界中に希望を築いています。

共に、私たちは、単に時間を浪費するだけでなく、歴史に私たちの足跡を残しています。

共に、一つのグローバルな家族として「立ち上がろう、そして輝こう」を続けましょう——より良い世界のために、共に。



国際本部 ニュース

ジョース・ヴァルギース国際書記長

このYMIの年度が正式に終了し、新たなリーダーシップチームが就任するにあたり、私たちは、退任するリーダーシップチームに対し、私たちの運動への揺るぎない奉仕と影響力のある貢献に対し、改めて心からの感謝を申し上げます。

会員増強

過去1年間は、YMIの世界において、拡大と祝賀の興奮に満ちた期間でした。私たちは、125の新しいクラブを歓迎し、グローバルな存在感を82カ国に拡大しました。複数のチャーター式典が歴史的な節目となりました。

イギリスで3つの新クラブがチャーターされ、オーストリアのウィーンでも1つがチャーターされました。さらに、イタリアのローマでは、記憶に残る教皇謁見を含む極めて重要なチャーター式典が開催されました。この力強い瞬間は、より良い、持続可能な世界構築への集団的な関わりの宣言と見なすことができます。北アメリカでは、72年の歴史を持つトロントクラブの復活を祝いました。新たなリーダーシップと熱心なメンバーで再活性化されました。

大会

過去数ヶ月間、ノルウェー、デンマーク、南西インド、中央トラヴァンコール、中東、西インド、南インド、北東インド、米国北大西洋、東・西日本、台湾、南東アジアなど、世界各地で区大会が開催されました。これらの集まりは、私たちの区運動の強さと団結を再確認し、協働とビジョン共有を促進し続けています。

今後、2つの主要な地域大会が予定されています：6月29日のインド地域大会と、8月1日から3日までのアジア太平洋（ASP）地域大会です。今年を締めくくるにあたり、国際的な取り組みに関するニュースを共有するにふさわしい時期です。「フェロシップ構築」と「断食の時」プログラムを通じた私たちの活動についてお伝えします。

フェロシップの構築

韓国のハ・スンビン氏は、2025年4月BF代表としてペルーを訪問しました。彼の報告では、ペルーのメンバーの驚くべき献身性が強調されました。彼らは、小さなクラブにもかかわらず、スラム街、障がい者学校、自然災害で破壊された地域で影響力のあるボランティア活動を実施しています。YMCAとのパートナーシップと、脆弱なコミュニティを支援する揺るぎない献身は、YMIの精神を体現しています。

断食の時(TOF)

最近、2つのTOFプロジェクト報告書が提出され、以下の詳細が記載されています。

TOF 22-08

アメリカ合衆国では、17の同窓会支部から参加したボランティアが、サウスダコタ州のスー族インディアン居留地でモーニングスター・タイニーホームコミュニティの建設を継続しています。同団体は、目標を大幅に上回る258,000米ドルを調達しました。4軒の新築住宅は、ほぼ完成間近です。来年度は、最終工事、奉献式典、革新的なTwigデモプログラムの開始など、多くの節目が予定されています。

TOF 24-06

インドのケララ州カルティカッパリーで進行中のワイズメンズ・ヴィレッジプロジェクトは、着実に進展しています。2025年4月の定礎式に続き、6軒の新居の基礎工事が順調に進んでいます。この取り組みは、地域社会から称賛を受けており、地域の人々にとっての希望の明かりとして位置付けられています。

新たなYMIの年度を迎えるにあたり、これまで達成された成果と今後の展望を祝います。新たなエネルギー、新鮮なリーダーシップ、そして同胞愛と奉仕への継続的な関わりを胸に、戦略2032の目標の実現に向け、共に努力しましょう。



世界に手を伸ばすためのインターン制度

iGoへようこそ。ワイズメンズクラブ国際協会とYMCAが共同で運営する新たなプログラムで、両組織に所属する18歳から30歳までの若年層を対象に短期インターンシップを提供しています。

もっと知ろう



次回のiGoの機会は

インド
ニューデリー

期間: 2ヶ月 インターンシップ期間中の宿泊施設と食事はニューデリーYMCAが提供します。



アフリカ地域

アフリカ地域編集委員 ジョアン・マティ

ウブントウ: 地域社会変革の為に一致団結

CS事業は、ワイズ運動の不可欠な事業であり、アフリカ地域においては、現在もクラブと部の活動の重要な構成要素となっています。アフリカ地域の多くのクラブは、現在「協働すれば立ち上がり、分裂すれば倒れる」を意味する“Umoja ni Nguvu, Utengano ni Udhahifu”というアフリカの言い伝えに従い、望む目標を達成しようと他クラブ、YMCA、地域社会とのパートナーシップによる協働的な活動方法を採用しています。

更に、各クラブは、CS事業が親睦の一部であるという考えを植えつけることによって、部内もしくは、区を越えて異なるクラブのメンバーを受け入れて「親睦の」文化を信奉しています。それにより、地域社会のメンバーの生活に大きな影響を与えるだけでなく、アフリカのワイズ運動においてより強固で団結力のある関係を促進しています。

今年度のワイズ運動において、教育は、アフリカのクラブにおいてCS事業の重点的な課題でした。例えば、カカメガYサービスクラブは、教科書、文房具、コンピューターを寄付しました。一方、ナイロビワイズメンズクラブは、提携して少女たちの生理的衛生的必要性を満たすために生理用ナプキンを提供しました。さらに、キトゥイYサービスクラブは、4年間の中学校生活を通じて、彼女の教育資金を賄うことを確約して、ある女子中学生を支援しています。



CS事業のハイライト プロジェクトと親睦(2024/2025)



2024年7月13日、部事務所は、マセア・バレーとムクル・フアタ・ニャーヨを含むナイロビ市全体の仮設住宅建設地で生活する洪水の被災家族を支援する大規模な奉仕活動を主導しました。ジュネーブのワイズメンズクラブ国際協会からの3,000米ドルもの多額の寄付金を含む、総額518,500ケニア・シリング(約4,000米ドル)の資金を得て、100世帯の家族が生活必需品を受け取りました。



親睦行事は、カカメガYービスクラブとキトゥイYサービスクラブによって主催されました。ムトモ・レベル4病院での植樹およびケニア医科大学の学生の授業料を支援する募金活動。



2024年8月24日、カカメガYサービスクラブは、キトゥイYサービスクラブとムトモYサービスクラブと協力して、聖パウロ・イカリクハ小学校に133の机、椅子、テーブル、本棚を寄付しました。このプロジェクトの支援の為に、カカメガYサービスクラブは、261,000ケニア・シリング(2,025米ドル)の寄付を集めました。



第26回アフリカ・南東区大会が、ボツワナの首都ガボンで開催され、8カ国からの代表が参加しました。大会は、ボツワナ・ワイズメンズクラブが主催し、ボソ大学会議場で開催されました。会議のテーマは、「変化を起こし、命を救おう」でした。

大会には、ジャレ・ムシマ理事、A・シャナヴァスカーン国際会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長、サミュエル・ヴァルギース国際事業主任、ベスウエル・ムペムプルワ・エリア会長、ルク・ムワナカトゥイ次期理事、アリサラ・モラムビア元エリア会長、ブライアン・ワルチョ国際ユース代表など多くのリーダーが参加しました。大会プログラムには、多くのリーダーの挨拶、各種報告、グループ討論、カルチャーナイト、入会式、就任式、各種表彰、エクスカージョン、正式な閉会夕食会などが盛り込まれていました。



ケンディリタ旅行会社と提携して、食料、本、生理用ナプキンがナイロビのスラム街にあるキベラYMCA学校に寄付されました。現在までの寄付総額は、630,000ケニアシリング(4,900米ドル)にのぼります。



2025年6月21日、キトゥイYサービスクラブは、リリアン・アキノラ部書記とパートナーのアキノラ、ニコラス・ヌグンビ部長、エスター・ムバブ次期部長、ジャレド・ムシマ区理事を招待して親睦を図りました。同日、キトゥイYサービスクラブは、ナイロビシティYサービスクラブと協働してキイニ特別支援学校で地域奉仕活動を実施し、食料とトイレ用品を寄付しました。このプロジェクトに費やされた総額は、230,000ケニアシリング(1,773米ドル)でした。

アジア太平洋地域

アジア太平洋地域編集委員 利根川恵子

東日本区大会



第28回東日本区大会は、323名の参加者が目的を共有し互いの絆を祝福して成功裏に幕を閉じました。大会のハイライトは、山下真新理事の就任式でした。区大会では1年間のそれぞれの活動の中での成果を称え、ワイズ運動への団結と奉仕への誓いも新たに更なる飛躍に向けて運動の方向性を確認する機会となりました。

西日本区大会

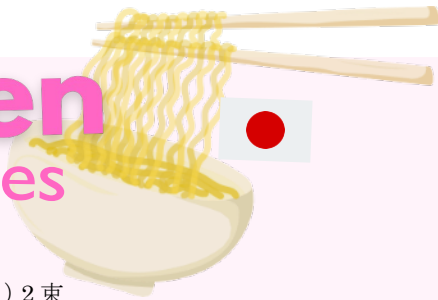


600人を超える参加者が西日本区大会に参集しました。ジョウン・ウォン地域会長によって中井信一新理事の就任式が執り行われました。中井新理事おめでとうございます。併せて、大会において強固な団結と貢献を見事に示された西日本区に賛辞を送ります。



「ゴールドスクールごみ処理プロジェクト2025」(Week4Waste)への資金集めのために「ハーモニー＆ホープ」と題されたチャリティードンスイベントを主催されたチェンマイクラブに心からの感謝とその多大なる貢献に対してお喜び申し上げます。150人を超える心暖かいサポーターのみなさんが参加し、このイベントを成功に導びきました。持続可能でより明るい未来を私たちがともに築いていく、そんな意味のある旅路に参加して下さったことを心より感謝いたします。

Somen Noodles



材料

ソーメン(100グラム)2束
めんつゆ(ミツカンおいカツオ)小さじ2と水 小さじ2
すりショウガ 小さじ2
きざみネギ 1
輪切りスライスきゅうり 1
カニカマ 1か2 (スライスハムかかまぼこでも可)

ソーメンの作り方

1人前ソーメン束を2個使う(1束約50グラム)。
1人前は水1リットルを使い、麺の量によって1分半から2分茹でる。
すぐに茹で上がるので、あらかじめソーメンを束から外し、素早く鍋にひろげる。

ソーメンは冷や水か氷を添えて盛り付ける。トマトやきゅうり、スイカなどのスライスを添えて盛り付ける。

今月の一皿

元地域会長 利根川恵子(日本)



蒸し暑い日本の夏には、涼のためによくソーメンが食されます。小麦粉を原料にした糸のように細長い麺がソーメンです。ソーメンは通常めんつゆと呼ばれるだしをベースにしたつゆと共に冷やして供されます。とても簡単に作れるベーシックなレシピを紹介します。一度マスターするとトッピングやつゆを工夫してアレンジできます。たとえば、私のお気に入り、すりごまベースのつゆに刻んだきゅうりを添えたソーメンです。

ヨーロッパ地域

ビルギット・K・ジェイコブセン ヨーロッパ地域編集委員



デンマーク



デンマーク区大会がアールスで開催され、いくつかの重要な運営上の決定がなされました。特筆すべきは、アルメニアとウクライナをデンマーク区の一部に加えるという勧告が全会一致で承認されたことです。

区の憲法は、この加入を反映して改正され、中央ヨーロッパを新たなセクションとして設立することで、今後数年間、新たな国々への運動のさらなる拡大への道が開かれました。

ノルウェー



6月13日から15日にかけてスタヴァンゲルで開催されたノルウェー区大会は、ビョルン・アルヴェ・ベンセンが理事に就任するという重要な節目を迎えました。A・シャナヴァスカーン国際会長が就任式を執り行い、ジョーズ・ヴァルギーズ国際書記長、運動に関する説得力のある最新情報を提供し、将来への新たな楽観を鼓舞しました。



イギリス

イギリスタミルス・ワイズメンズクラブ



ロンドンセントラル・ワイズメンズクラブ

オーストラリア

ウィーン・ワイズメンズクラブ



ヨーロッパ地域の新しいクラブのみなさん、
ようこそYMIファミリーへ！

イタリア

イタリアローマ・ワイズメンズクラブ



儉約して
買い物しよう！



MIDDELFART SECOND HAND SHOP

デンマーク・ゲンブルグ・ミドルファート

ミドルファート・リサイクルショップは、YMIとYMCAおよびボーイスカウトで運営されています。

ミドルファート(Vends Herred)クラブが所有するこの店は、約2,000平方メートルで、約65名のボランティアが働いています。中には、1週間のうち、4～5時間、あるいはそれ以上の奉仕をしている人もいます。

店は祝日と日曜日以外、年中無休です。

2024年の収入:575,000ユーロ

利益:280,000ユーロ

この収益により、人道的な支援の基金に、約94,000ユーロを捻出しています。



Google map link

月例リマインダー

シンプルなことに感謝

人生は、いつも楽ではない。重く感じる日もある。、長く感じる瞬間もある。しかし、そのような中で、私は、シンプルでありながら、深遠なことを思い出す:すべての生きる機会、理解を超えた祝福である。

喜びを感じるのに、大げさなものはいらない。静かな朝、太陽の暖かさ、笑い声、深呼吸、これらで十分だ。これらは、贈り物だ。

優しい言葉、小さな突破口、安らぎのひとつときなど、他の人なら見過ごしてしまうようなことでも、私は、微笑んでいることに気づく。そしてその瞬間、私は、神を最も身近に感じる。

シンプルな中にこそ、神の祝福が満ちあふれていると私は、感じる。

ビルギット・K・ジェイコブセン

インド地域

ジョセフ・ヴァルギース インド地域書記兼編集委員

インド地域からご挨拶を申し上げます。

2025/2026年度インド地域を代表してご挨拶できることは、大変光栄なことです。当地域会長バブ・ジョージのダイナミックなリーダーシップのもと、献身的な地域チームの一貫した支援を受けて、本年度の活動とプロジェクトは入念に計画されました。準備は6ヶ月前から始まり、現在までに7つの区で就任式が成功裏に完了致しました。



残る2区は、7月第1週までに就任式が予定されています。私たちは、全ての区での就任式を地域会長自らが、地域チームのメンバーと共に直接執り行ったことを誇りに思います。これにより、全ての区において、強い団結感と共通の目的意識が強化されました。イベントの成功を確保するため熱心に取り組んだ後、地域会長の就任式は6月29日（日）、コチ国際空港近郊のネドゥンバッセリーにある、サジ・アース国際コンベンションセンターにて開催されました。

今後も、貧困層や困窮者を支援し、力付けるための影響力のあるサービスを通じて、私たちの努力を一つにまとめましょう。共に、今後数年間で私たちの運動を更に高いレベルへと導くために努力致しましょう。。

チーム・インド地域を代表して心をこめて

ジョセフ・ヴァルギース
インド地域書記兼編集委員

インド地域 区就任式ギャラリー

中東区 (MER)



区大会および就任式は、地域会長バブ・ジョージによって開催されました。プラティープ・ジョンとそのチームの就任式は、アラブ首長国連邦(UAE)シャルジャにて執り行われました。

中央トラヴァンコール区 (CTR)

区大会および就任式は、スリ・ジョブ・マイチルにより、開催されました。地域会長バブ・ジョージがドクター・ラジェシュ理事とそのチームを就任させました。



南西インド区 (SWIR)



区大会および就任式は、直前国際会長A・シャナヴァシュカンにより開催されました。地域会長バブ・ジョージにより、トリヴァンドラムにてトーマス・K・ジョージ理事とそのチームが就任致しました。

区大会および就任式典は、最高裁判所判事R・バサントによって開催されました。地域会長バブ・ジョージが、カルカットにてフランシス・P・Sとそのチームを就任させました。



中央インド区 (CIR)



区大会および就任式典は、地域会長V・S・ラダクリシュナンにより開催され、サルヴァジ・ラージャ・シェカール・ラオ理事とそのチームがハイデラバードにて就任致しました。

南中央インド区(SCIR)

区大会および就任式のプログラムは、ケララ州元首席秘書官のシュリ・ジャヤクマールによって開催されました。地域会長バブ・ジョージがマシュー・キュリエン理事とそのチームをバンガロールにて正式に就任させました。



北、東及び北東インド区 (NENEIR)



区大会および就任式典は、ジャハルカンド州最高裁長官兼国家人権委員会委員のジャスティス・B・R・サランギにより開催されました。地域会長バブ・ジョージ氏、オデイシャ州カットックにてプラダナ・クマール・ナンダ理事とそのチームを就任させました。



韓国地域

チャン キュンジュ編集委員

世界自然遺産 インチョン（仁川）干潟

第5回インチョン区大会が2025年6月21日インチョンYMCA講堂で開催されました。大会のテーマは、「世界自然遺産としてのインチョン干潟」で、私たちが共有しているこの惑星の持続可能な目標と環境保護に対する責任について焦点を当てたものでした。このテーマは環境の持続可能性にフォーカスした戦略2023とまさに一致し、このイベントが特別でふさわしいものとならしめています。.



リー・カンイン理事

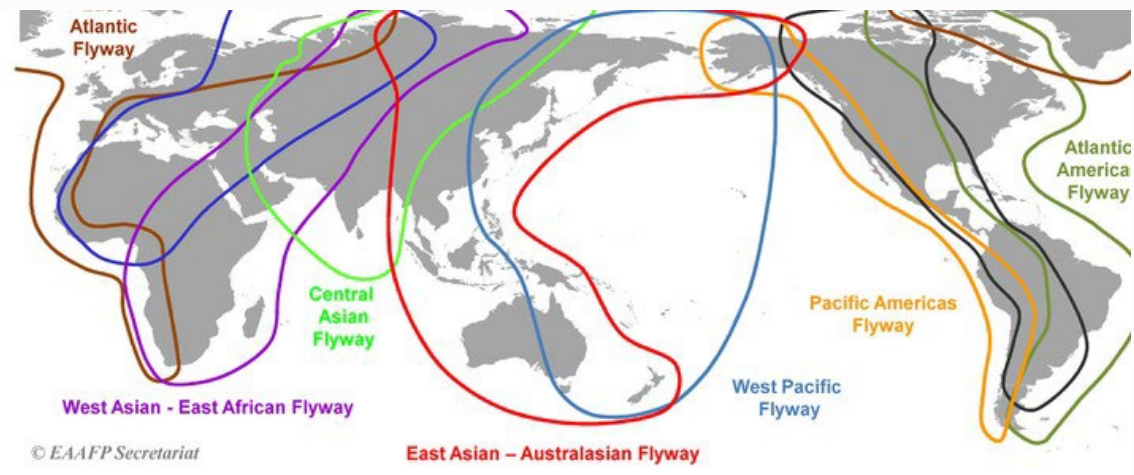
干潟は世界でも限られた地域でしかみることができないもので、とても貴重で多様性に富む種の保存に欠かせない生態系を有しています。この保護地域は大変重要です。インチョン区リー・カンイン理事（2025/26）は環境問題の専門家であるジャンジオングによる干潟啓発講義を通していくつものワイズメンズクラブの環境保護活動や区が果たす重要な役割について強調しました。この講義は、この貴重な自然環境の価値を守るための国際的な意識の向上と行動を促す目的で行われました。リー理事は今期インチョン区が積極的にこの保護活動を率先して擁護することに賛同しました。

絶滅の危機にある渡り性水鳥たちの経路地

基調講演によりますと、韓国の干潟－黄海の東側および国土の南西岸－舒川郡、高敞郡、新安郡、ボソ－順天 干潟、これらの地域は、地球規模で生物多様性の保護区として以下の点で重要です。

1. 東アジア－オーストラリア空路(EAAF)における渡り性水鳥の重要な経路地および越冬地
2. 主要な海洋性絶滅危惧種および渡り鳥の生息地、地球規模での生態学的連続性の維持に不可欠
3. 海洋性無脊椎動物、沿岸水生生物、希少生物多様性などを維持する主な生態系として





新ブルーカーボン、干潟、気候変動への代替策としての期待

また、海洋生態系によって吸収されるブルーカーボンは、地上の生態系より最大50倍の速さで吸収され、数千年にも亘って貯蔵されます。韓国内の干潟は、約1,300万トンの二酸化炭素を貯蔵し、年間二酸化炭素吸収量は71万トンに達します。この年間吸収量は、11万台の自動車が1年間に排出する温室効果ガス量に匹敵すると言われています。現在、この分野における干潟の二酸化炭素吸収と貯蔵能力、ブルーカーボン資産についての様々な研究が行われているところです。

国際生態系保全基金へのワイズメンの約束

インチョン干潟を保全し、来る世界自然遺産への登録を促進するためインチョン区のリーダーたちはインチョンYMCAとほかの市民団体パートナーとの間で基本合意書を締結しました。合同でインチョン干潟2026年世界遺産促進市民協働グループを組織しました。

区大会の閉会にあたりリー・カンイン理事とクラブメンバーたちは西海全地域を含む干潟の生態系保全に焦点を当てた有意義な地域奉仕活動に取り組むことを誓いました。この大会は、ワイズメンにおける国際的な環境への取組において画期的なイベントとなりました。



ラテンアメリカ地域

ラテンアメリカ地域 区理事 ヱィクター・タボアダ・ボルミオリ

**兄弟の架け橋：ハ・スンビンのペルー訪問
BFプログラムのおかげです。**

2025年4月20日から30日まで、韓国代表のハ・スンビンは、BFプログラムの一環としてペルーを訪問しました。滞在中、彼は、ティクリオ・チョコやウアマタンガなど極度の貧困地域で活動するペルーのクラブ会員の取り組みを目撃し、サンがいフランシスコ・デ・アシスセンターにて視覚や身体に障がいの有る子供たちや脆弱な地域への支援活動にも参加しました。

彼は、限られた資源にもかかわらず、共同キッチン設立、基本的な物資や教育資料の寄付、栄養改善やバイオガスのためのモルモット飼育など、数百の家族に希望をもたらす献身的なボランティアたちと共に活動致しました。彼の訪問は、韓国とペルーの絆を強化するだけでなく、グローバルな支援を緊急に必要とする地域の証人兼大使となるきっかけになりました。

深く感動したハ・スンビンは、これらの物語をアジア各地で共有し、国境を越えた連帯の橋を築くことを誓いました。



YMIワールド編集部

編集長：国際会長 エドワード・オング（アジア太平洋地域）
発行者/国際本部ニュース：国際書記長 ジョース・ヴァルギース
副編集長：トレイシー・モヴィグリアアッティ（国際本部）
発行：ジェームズ・オレ（国際本部）
デザイナー・コーディネーター：トング・ポンツドシリクル（国際本部）
編集アシスタント
アフリカ ジョウン・マティ
アジア太平洋 利根川恵子
カナダ・カリブ海諸国 ハルバート・プラット
ヨーロッパ ビルギット・K・ジェイコブセン
インド ジョセフ・ヴァルギース
韓国 チャン・キョンジュ
ラテンアメリカ クリスチャン・グリーン
USA メラニー・カアイフエー-ヨシダ

YMIワールド翻訳チーム

中国語：

マギー・ユウ

日本語：

東西日本区合同翻訳・通訳チーム

韓国語：

ハイジン・チャン

スペイン語：

シルヴィア・レジェス

デンマーク語：

ビルギット・K・ジェイコブセン
グーリ・ホルム

ポルトガル語：

ラウラ・ゴンカルヴェス

フランス語：

フランソワ・ムンツァー

ロシア語：

オルガ・ヴチコヴァ

オクサナ・スダレヴァ

マリナ・マカロヴァ

イリナ・ママエヴァ

アントニナ・ノヴィコヴァ

ナターリア・ディウリアジーナ

アレクサンドラ・エルショヴァ

リマ・ベログロヴァ

ジュリア・シュチェルバコヴァ

2025/26 強調月間

2025

7月
広報
コミュニケーション

8月
戦略2032
フオーワード・プランニング

9月
EMC
100日間会員増強キャンペーン

10月
ASF

11月
BF
iGo
STEP

12月
キリスト教強調
IBC

2026

1月
EF

2月
TOF
HTW

3月
地域奉仕
グリーンプロジェクト

4月
Week4Waste
ロールバック・マラリア

5月
リーダーシップ開発
ユース・エンゲージメント

6月
歴史
YMCAとの関係
年度評価

